



地方公務員法 A（基本編）

研修のねらい

自治体職員として身につけるべき地方公務員法について、職種や業務内容にかかわらず役立つ内容を中心に、具体的事例を通じて基礎から学びます。

受講対象者

市町村職員：150人

主任級以下の職員

配信時期：視聴時間

11月上旬～11月下旬（予定）

視聴時間：約6:30

備考

視聴時間はあくまで目安となります。カリキュラムの内容によっては個人ワークが含まれるため、受講者の取り組み状況により、実際の視聴時間は記載時間と異なる場合があります。



研修概要

神奈川大学

教授 出口 裕明

- ・制度の概要
- ・任用と離職
- ・公務秩序の維持
- ・分限と懲戒
- ・勤務条件
- ・労働基本権
- ・職員の権利保護

など



こんな人におすすめ

- ・地方公務員としての基礎を、実務に活かせる形で学びたい人
- ・日々の業務と地方公務員法との関係を具体的に理解したい人



得られるスキル

- ・情報収集能力（地方公務員法の基礎知識習得、理解）
- ・自己管理能力（服務規律・職務上の責任の理解）



受講者の声

- ・地方公務員としての基礎知識を整理し、日常業務に必要な義務や責任を改めて意識できた。
- ・事例を通して、業務での判断や対応を考える力を高められた。
- ・地方公務員法の全体像を把握し、自分の職務と法律の関係を具体的に意識しながら業務に活かせる感覚を得られた。